

北海道総合計画の普及に係る取組状況

1 北海道総合計画出前講座

(1)目的

多くの道民の皆様へ、「北海道総合計画」への理解を深めていただくことを通じ、北海道の現状・課題や政策について知っていただくとともに、北海道の将来や未来の地域づくりなどについて考え、ともに行動する機会としていただくことを目的として実施。

(2)実施内容

- ・申し込みに応じて実施し、内容は申込者の希望に応じ調整
- ・北海道総合計画の解説のほか、計画に基づく具体的な道の取組（事業）の紹介や、計画に掲げる「7つの将来像」の実現に向けた方策を考えるワークショップなどを実施

(3)平成29年度の実施状況・予定一覧

日程	学校・団体名	参加者数	備考
4月21日	北海道伊達高等学校	29	3年生
6月30日			
9月21日			
6月 1日	北海道開発局	17	
6月26日	小樽商科大学	32	1年生ゼミ
7月10日			
7月11日	旭川工業高等専門学校 (機械システム工学科、電気情報工学科)	68	4年生
7月22日	北海道奥尻高等学校	48	全校生徒
7月24日	北海道教育大学札幌校	24	1年生
7月25日	北海道教育大学函館校	137	1年生～4年生
8月23日	留萌町村会	26	
9月21日	北海道別海高等学校	72	3年生
9月27日	北海学園札幌高校	179	3年生
10月19日	檜山町村等監査委員協議会	28	
10月19日	札幌日大高校	74	1年生(経済部等と連携して実施)
10月26日			
11月 2日			
10月26日	留萌信用金庫	25	
11月 4日	(公社)北海道ろうあ連盟	63	保健福祉部と連携して実施
11月15日	北見工業大学	101	3年生
12月12日	旭川工業高等専門学校 (システム制御情報工学科、物質化学工学科)	82	4年生
12月18日	酪農学園大学	235	2年生～(農政部と連携して実施)
12月19日	稚内北星学園大学	32	1年生～
12月20日	滝川工業高等学校	64	2年生
1月16日	日高信用金庫	23	
1月23日	北海道生産性本部室蘭地区支部	30	
2月 7日	釧路工業高等専門学校	40	
2月 8日	占冠村	30	
3月19日	帯広工業高校	37	1年生(建設部と連携して実施予定)

※ 特定分野の政策展開について講義の依頼があった場合、所管部局と連携し講義を実施(札幌日大高校など)

※ 2月7日以降については予定

2 海外訪問団への対応

日程	団体名	参加者数	備考
5月24日	韓国済州特別自治道議會議員	11	
7月14日	コートジボワール政府関係者	8	JICA海外技術研修受入事業

3 市町村を通じた北海道総合計画の広報

- ・市町村に対し、広報誌等を通じた北海道総合計画の周知を依頼
- ・28市町村(8市18町2村)において、広報誌やホームページを通じた北海道総合計画の周知を実施(平成30年1月29日現在)

北海道総合計画出前講座 実施例（平成29年度）

1 北海道伊達高等学校

(1)日 程 <前期>平成29年4月21日、6月30日 <後期>平成29年9月21日～

(2)出席者 29名(3年生)

(3)内 容

- ・前期は、伊達市が総合計画策定に当たって実施する伊達高校でのワークショップ(5/11、5/30、6/1)と連携し、連続講義として実施「10年後の地域をもっとよくしよう！」をテーマに、生徒がグループで地域活性化策を検討
- ・生徒が検討した地域活性化策は、学校祭(7月)や伊達市主催のまちづくりシンポジウム(8月)において発表
- ・後期は、9月の出前講座(9/21)を踏まえ、新たに「10年後の北海道をもっとよくしよう！」をテーマにグループワークが進められており、今後、その結果が発表される予定



【学校祭での主な発表内容】

- 「Welcome to DATE」
 - ・近隣の観光地に訪れる外国人観光客を伊達市に呼び込むための四季折々のツアーを提案
- 「伊達市の認知度を上げるには～もっと伊達市を知ってもらおう～」
 - ・伊達市をPRするため、独自のゆるキャラを発案し、その活用方法について提案

2 小樽商科大学

(1)日 程 平成29年6月26日～7月10日

(2)出席者 32名(1年生)

(3)内 容

- ・出前講座(6/26)の内容(人口減少に伴う北海道の課題)を踏まえ、その対応方策についてグループで検討し、政策提言会において発表(7/10)
- ・優秀グループ2グループに対し、計画推進担当局長から表彰



【優秀グループの主な発表内容】

- 観光から考える北海道の政策～観光客を道東・道北へ回せ～
 - ・道東・道北の観光客増加に向け、移動距離の長さを活かした高級車無料貸出によるドライブ推進等を提言
- 純道産鶏による地域農業の活性化
 - ・飼料自給率向上や耕作放棄地の解消、雇用創出に向け、道産飼料で育てたブランド鶏の国内外での販売を提言

3 札幌日本大学高等学校

(1)日 程 平成29年10月19日、10月26日、11月2日

(2)出席者 74名(1年生、スーパーグローバルハイスクール受講生)

(3)内 容

総合計画のほか、特定分野に関する道の取組について講義依頼があったため、関係部局と連携し、3週に渡って以下の講義を実施



- ・10月19日 「北海道総合計画について」(総合政策部政策局計画推進課)
- ・10月26日 「北海道産食品の輸出拡大に向けた取組について」(経済部食関連産業室)
「国内外からの誘客拡大に向けた取組について」(経済部観光局)
- ・11月 2日 「北海道ASEAN事務所の取組について」(北海道ASEAN事務所)
「北海道とロシアとの関係について」(総合政策部国際局国際課)

4 北海道ろうあ連盟

(1)日 程 平成29年11月4日

(2)出席者 63名(札幌会場:42名、帯広会場:21名、「手話通訳者養成講座」受講生等)

(3)内 容

総合計画のほか、特定分野に関する道の取組について講義依頼があったため、関係部局と連携し、以下の講義を実施

- ・「北海道総合計画について」(総合政策部政策局計画推進課)
- ・「介護保険制度について」(保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課)

